



雨の季節です。

4年ぶりに、全校児童が集う運動会ができましたね。コロナのことも、あまり気にならなくなってきました。

ただ、先日新聞に「コロナ後遺症」が特集されていました（読売新聞6月）。コロナ感染した後、「そういえば、こんなことあったかも」と心当たりがあるかも知れません。また、お子様に傾向が見られたかも知れません。時間が経って、今になって分かってきたこともあると思います。

コロナウイルス感染症の後遺症として、せきや息切れ、倦怠感、だるさ、記憶力低下、味覚障害、嗅覚障害、脱毛、集中力の低下、睡眠障害、気分障害など50を超える症状があるとされているそうです。

2022年春にコロナ発症した子どもが、1ヶ月以上経って、発熱と咳、嗅覚障害、倦怠感などの症状が続いたり、記憶障害（ブレインフォグ）もあつたりしたそうです。

しばらくすると、自然に治る場合が多いようですが、コロナ感染から治ったように見えて、なんだか意欲がわかない、食欲がない、怠けているように見えるなど、子どもの様子が違うときは、後遺症かも知れないことを覚えておいてください。

昨年、相談に見えられたお子様が、後遺症だったのかもしれないと、反省しています。コロナ明けの登校に十分注意を払いたいです。

うとうしい毎日に気分が優れないときも相談室をご活用ください。

相談日 6月8日（終わっています）・22日 7月6日

岩出市体育館近くの青少年センター相談室でも
相談が可能です。6月26日・7月10日（月）

